

学会だより

◇ 会員の榮譽

佐藤和広会員が「紫綬褒章」を受章

本会会員の佐藤和広氏（岡山大学資源植物科学研究所）は「植物遺伝育種科学研究功績」により、令和5年秋の「紫綬褒章」を授与されました。

「紫綬褒章」は、科学技術分野における発明・発見や、学術及びスポーツ・芸術文化分野における優れた業績を挙げた方に授与される国家褒章です。褒章は11月13日にホテル椿山荘東京で文部科学大臣から伝達され、その後皇居で天皇陛下への拝謁が行われました。

◇ 令和5年度第2回運営委員会議事録

日時：2023年8月27日（日）14:00～18:00

場所：東京大学弥生講堂会議室およびZoom会議

出席者：加藤鎌司、中園幹生、佐々英徳、西田英隆、高橋宏和、岩田洋佳、津釜大侑、半田裕一、吉岡洋輔、久保友彦、北柴大泰、犬飼義明、清水顕史、草場信、山形悦透、堀清純、辻寛之、掛田克行、寺石政義、磯部祥子、川浦香奈子、小出陽平、門田有希【23名】

欠席者：渡邊和男【1名】

各運営委員からの活動経過報告の後、以下の事項について審議された。

- ①理事に関連する定款・運営内規の変更（理事）
- ②優秀発表賞のオンライン投票化（総務）
- ③科研費関係書類の保管（科研費）
- ④会計書類原本の保管、電子データのクラウドストレージ保管（会計）
- ⑤新編集委員（1名）の推薦、J-STAGE掲載情報の追加、AnnouncementのWeb掲載、和文摘要の公開、投稿規定の改訂（英文誌）
- ⑥投稿論文区分の見直し（和文誌）
- ⑦男女共同参画学協会連絡会による文科省への要望に対する賛否（男女共同参画）

◇ 第16回代議員会議事録

日時：2023年9月9日（土）13:00～17:35

場所：オンライン開催

（理事・運営委員・監事・各種委員）

出席者：加藤鎌司、中園幹生、佐々英徳、西田英隆、高橋宏和、渡邊和男*、岩田洋佳*、半田裕一*、久保友彦*、北柴大泰*、犬飼義明*、清水顕史*、山形悦透*、堀清純、辻寛之、掛田克行*、寺石政義、磯部祥子、川

浦香奈子*、小出陽平、門田有希、富田因則、畠山勝徳、奥本裕、久保山勉*【25名】

欠席者：津釜大侑、吉岡洋輔、草場信*、経塚淳子【4名】

（代議員）

出席者：久保友彦*、赤木宏守、阿部陽、北柴大泰*、深井英吾、宇賀優作、福岡修一、江花薫子、吉田均、久保山勉*、渡邊和男*、佐藤正紀、井澤毅、岩田洋佳*、伊藤純一、川浦香奈子*、犬飼義明*、佐藤豊、掛田克行*、佐塚隆志、古川一実、那須田周平、清水顕史*、半田裕一*、中崎鉄也、辻本壽、山本敏央、藤田大輔、山形悦透*、緒方大輔【30名】

委任状：大西一光、貴島祐治、金澤章、田中克典、石井卓朗、加賀秋人、有村慎一、草場信*、松田靖【9名】

欠席者：中村郁郎、村井耕二【2名】

*役員・委員と代議員を兼任

議長：代表理事（加藤鎌司）

議事録：運営委員（高橋宏和）

出席者数は代議員会の定足数（過半数）を満たしていた。

1. 報告事項

（ア）運営委員会報告（各運営委員）

総務：会員数、冊子発行部数、Webサイト・メールニュース、契約、共催・協賛・後援、各種委員の推薦、優秀発表賞投票方法、会議開催予定

代表理事：会員数の推移

IT・HP：Webサイトのアクセス解析結果、固定ページの更新

科研費：研究成果公開発表（シンポ科研費）、国際情報発信強化（BS科研費）、日本学術振興会による経理状況等の調査・意見交換の実施予定、科研費関連書類の保管義務と対応

会計：2023年度中間決算報告、年会費のクレジット決済導入の延期

編集（英文誌）：編集状況、特集号、企画総説、論文賞推薦、SNS（BSのX（旧twitter）アカウント開設と情報発信）、OA化・APC化、HP掲載情報（学会HP、J-STAGE）、和文摘要公開、投稿規定改訂

編集（和文誌）：編集状況、投稿論文区分の見直し

集会：2023年秋季大会、今後の大会開催予定、特例としてのWSハイブリッド開催の要件

農学会：2023年度シンポジウム開催予定、2024年度農学賞受賞候補者推薦依頼、2024年度シンポジウムテーマ、日本学術会議「未来の学術振興構想」策定の進捗状況

記者発表：第144回講演会の記者発表の日時、対象課

題, 希望演題数, 調整・開催方法

LMO・ABS: LMOの第二種使用に関する注意喚起, 第一種使用申請の動向, 遺伝資源移転に関する注意喚起, 植物防疫法の手続き強化

地域(北海道, 東北, 中部, 近畿, 中国・四国, 九州・沖縄): 談話会の開催および開催予定

2. 審議事項

(ア) 通常決議議案: 令和5年日本育種学会賞の選考について

学会賞等選考委員長より以下の3課題の日本育種学会賞候補の推薦理由について説明があった。

(1) 芦荊基行(名古屋大学生物機能開発利用研究センター)「イネの形態形質に関する分子遺伝学的研究および育種への応用」

(2) 加賀秋人(農研機構 作物研究部門)「マメ科作物の遺伝的多様性の解析と育種利用に関する研究」

(3) 千葉県農林総合研究センター落花生育成グループ(代表者: 桑田主税)「多様なニーズに対応した落花生品種の育成」

投票の結果, 代議員出席者の3分の2以上の賛成票を得て3件とも承認された。

(イ) 通常決議議案: 令和5年日本育種学会奨励賞の選考について

学会賞等選考委員長より以下の3課題の日本育種学会奨励賞候補の推薦理由について説明があった。

(1) 殿崎薫(横浜市立大学 木原生物学研究所)「イネの胚乳における生殖的隔離機構の遺伝育種の研究」

(2) 清水元樹(岩手生物工学研究センター ゲノム育種研究部)「アブラナ科野菜およびイネにおける耐病性機構の分子遺伝学的解析とその育種展開」

(3) 矢部志央理(農研機構 作物研究部門)「ゲノミックセレクションとシミュレーションを活用した植物育種の効率化に向けた研究」

投票の結果, 代議員出席者の3分の2以上の賛成票を得て3件とも承認された。

(ウ) 通常決議議案: 第20回(令和4年)日本育種学会論文賞の選考について

学会賞等選考委員長より以下の3報の日本育種学会論文賞候補の推薦理由について説明があった。

(1) Developing core marker sets for effective genomic-assisted selection in wheat and barley breeding programs

掲載巻(号)・頁: Breeding Science 72 (3): 257–266

著者: Goro Ishikawa, Hiroaki Sakai, Nobuyuki Mizuno, Elena Solovieva, Tsuyoshi Tanaka, Kazuki Matsubara

(2) Flowering Date1, a major photoperiod sensitivity gene in adzuki bean, is a soybean floral repressor *El* ortholog

掲載巻(号)・頁: Breeding Science 72 (2): 132–140

著者: Yusuke Imoto, Shoko Yoshikawa, Yuki Horiuchi, Takumi Iida, Taisei Oka, Shuichi Matsuda, Yoshihiko Tokui,

Masahiko Mori, Kiyooki Kato

(3) Seed management using NGS technology to rapidly eliminate a deleterious allele from rice breeder seeds

掲載巻(号)・頁: Breeding Science 72 (5): 362–371

著者: Elias G. Balimponya, Maria S. Dwiyantri, Toshiaki Ito, Shuntaro Sakaguchi, Koichi Yamamori, Yoshitaka Kanaoka, Yohei Koide, Yoshifumi Nagayoshi, Yuji Kishima

投票の結果, 代議員出席者の3分の2以上の賛成票を得て3件とも承認された。

(エ) 特別決議議案: 定款の変更(理事関連)

理事1名が職務継続できなくなった場合に対応するために代議員会招集条件(第3章第15条), 理事の人数・配置(第4章第22条)等の変更が提案された。

投票の結果, 総代議員の3分の2以上の賛成票を得て承認された。

(オ) 通常決議議案: 運営内規の変更(理事関連)

審議事項(エ)に関連して, 会長の辞任および解任に関する事項(運営内規D)等の変更が提案された。

投票の結果, 代議員出席者の過半数の賛成票を得て承認された。

(カ) 通常決議議案: 運営内規の変更(表彰規定関連)

研究者表彰規定に関する事項(運営内規G)について, 奨励賞の受賞資格を42歳未満もしくは研究歴20年未満とすること, 学会賞の学術的業績と技術的業績の件数に関する表現を改めることが提案された。

投票の結果, 代議員出席者の過半数の賛成票を得て承認された。

(キ) 通常決議議案: 編集委員の退任と新編集委員の推薦

編集体制強化を目的として新編集委員候補1名の推薦があった。

海外編集委員: Jun Zheng(鄭軍)氏

投票による審議の結果, 代議員出席者の過半数の賛成票を得て承認された。

3. その他

(ア) 関連報告

①学会賞等選考委員会

日本農学賞候補者の推薦, 日本育種学会賞・奨励賞候補者推薦依頼文の変更案について報告があった。

②シンポジウム委員会

第144回講演会において開催される第64回シンポジウムの報告があった。

③男女共同参画推進委員会

第144回講演会において開催されるランチタイムセミナーの報告があった。

④日本学術会議育種分科会委員

新規会員・連携会員の選出経過について報告があった。

⑤公益財団法人農学会農学教育推進委員会委員

JABEE 修了者の技術士第二次試験受験状況について報告があった。

(イ) その他

①第 144 回講演会優秀発表賞の選考について

総務担当からオンライン投票に関する説明と投票依頼があった。

◇ 第 144 回講演会選定課題記者発表報告

発表日時：令和 5 年 9 月 11 日（月）13:00 ～ 14:30

発表場所：オンライン開催

出席者：佐々英徳（幹事長）、津釜大侑（記者発表担当運営委員）、安井康夫（課題 1）、殿崎薫（課題 2）、高原学（課題 3）、長澤秀高（課題 4）

参加報道機関：NHK、時事通信社、化学工業日報社、科学新聞社の計 4 社・4 名

令和 5 年 9 月 16 日（土）・17 日（日）に神戸大学で開催される日本育種学会第 144 回講演会の講演課題（計 238 課題）の中から運営委員会によって選定された以下の 4 題について、記者会見を実施した。

発表タイトル（記者発表）：

(1) ゲノム解読結果を利用し、組換え技術やゲノム編集技術を利用しない手法で、これまで世界に存在しなかったモチ性フツソバを開発

(2) 受精せずにクローン種子を形成するイネ系統の発見

(3) 農業・食品分野のゲノム編集への理解醸成に向けて～ウェブサイトや教材を通じた情報発信とアウトリーチ活動の取組み～

(4) コンバイン収穫に適する普通アズキ新品種「きたいろは（十育 180 号）」の紹介

講演タイトル（第 144 回講演会）：

(1) 講演番号 114『NGS-TILLING を利用したモチ性フツソバの開発』安井康夫¹、ジェフリ フォーセット²、田中朋之¹、西村和紗^{1,3}、中崎鉄也¹、岩橋優¹、齊藤大樹⁴、竹内直子¹、上野まりこ^{1,5}、白澤健太⁶、平川英樹⁶、大田竜也⁷（1. 京都大・農学研究科、2. 理研・数理創造プログラム、3. 岡山大・院環境生命自然、4. 国際農研・熱帯島嶼研究拠点、5. 東京農工大・農学研究院、6. かずさ DNA 研究所、7. 総研大・統合進化科学研究センター）

(2) 講演番号 404『単為発生および自律的な胚乳発生を示すイネ PRC2 二重変異体の解析』殿崎薫、木下哲（横浜市大・木原生研）

(3) 講演番号 413『農業・食品分野のゲノム編集への理解醸成に向けた情報発信とアウトリーチ活動』高原学¹、中野善公^{1,2}、森山力^{1,3}、大田方人¹、赤羽幾子¹、住友克彦¹、藤野賢治¹、水野浩志¹、笠井誠¹、西山哲史⁴、立花智子⁴、中嶋香織⁴、藤井毅⁵（1. 農研機構 企画戦略本部 新技術対策課、2. 農研機構 野花研、3. 福島国際研究教育機構、4. (株) リバネス、5. JATAFF）

(4) 講演番号 613『コンバインによるダイレクト収穫でロスが少ないアズキ新品種「十育 180 号」の育成』長澤秀高¹、堀内優貴¹、中川浩輔¹、佐藤博一¹、奥山昌隆¹、佐藤仁²、萩原誠司¹、山口直矢²、鴻坂扶美子²、田澤暁子³、村田暢明¹（1. 北海道立総合研究機構・十勝農業試験場、2. 同・中央農業試験場、3. 同・北見農業試験場）

佐々と津釜が諸注意を述べた後、それぞれの課題の発表者がレジュメを用いて発表内容について自ら説明し、質疑応答を行った。記者会見後、講演番号 114 に関する記事が毎日新聞（10/30）に掲載され、講演番号 404 に関する記事が、日刊工業新聞（9/12）に掲載された。

◇ 第144回講演会日本育種学会優秀発表賞報告

2023 年日本育種学会秋季大会（第 144 回講演会）における日本育種学会優秀発表賞が下記の 13 演題に決定された。

講演番号 106：レガシーデータを活用したダイズの開花期を制御する遺伝子座の探索

☆菅波眞央¹、高橋秀和^{1,2}、二瓶直登^{1,2}、吉田英樹¹、小島創一³、佐藤郁恵⁴、山本英司⁵、吉田晋弥¹、渡辺正夫⁶、松田幹^{1,2}、松岡信¹（1. 福島大学食農学類附属発酵醸造研究所、2. 福島大学食農学類、3. 東北大学大学院農学研究科、4. 福島県農業総合センター、5. 明治大学大学院農学研究科、6. 東北大学大学院生命科学研究所）

講演番号 108：アジアイネゲノムとの網羅的オーソログ解析に基づくアフリカイネゲノムの特徴づけ

☆古田智敬¹、佐藤豊²、吉村淳³、芦荊基行⁴（1. 岡大・資源植物科学研究所、2. 遺伝研、3. 九大・農学研究院、4. 名大・生物機能開発利用研究センター）

講演番号 116：ソバの異形花型自家不和合性の分子機構とゲノム構造

☆竹島亮馬¹、Fawcett, Jeffrey²、松井勝弘¹、水野信之¹、松本大生³、平川英樹⁴、大田竜也⁵、安井康夫⁶（1. 農研機構・作物研、2. 理研・数理創造プログラム、3. 福井県立大・院農、4. かずさ DNA 研究所、5. 総研大・統合進化科学研究センター、6. 京大・院農）

講演番号 118：雌雄異株植物オニドコロにおける性決定候補遺伝子の同定

☆工藤葵¹、杉原優²、阿部陽³、及川香梨³、夏目俊³、清水元樹³、伊藤和江³、辻村真衣⁴、寺地徹⁵、太田敦士¹、寺内良平¹（1. 京都大・農、2. The Sainsbury Laboratory、3. 岩手生工研、4. 龍谷大・農、5. 京産大・生命科学）

講演番号 305：イネの側根原基に見られる可塑的な発生機構の解析

☆櫛田聖也¹、赤星良輔¹、河合翼²、井成（池田）真由子³、犬飼義明⁴（1. 名大・院生命農学、2. 農研機構・

作物研究部門, 3. 東海学園大・健康栄養, 4. 名大・農学国際教育研究センター)

講演番号 313: 細胞骨格のイメージングと重合阻害によるイネシュート頂メリステムの発生学的解析

☆高田峻輔¹, 田中真理¹, 武内秀憲², 丸山大輔¹, 井藤純¹, 辻寛之^{1,3} (1. 横浜市大・木原生物学研究所, 2. 名古屋大・トランスフォーマティブ生命分子研究所, 3. 名古屋大・生物機能開発利用研究センター)

講演番号 316: 三次元タイムラプス撮影によるイネ葉原基の1細胞成長解析

☆徳山芳樹¹, Kelly-Bellow, Robert², Smith, Richard S.², 小出陽平³ (1. 北海道大学大学院農学院, 2. Department of Computational and System Biology, John Innes Centre, 3. 北海道大学農学研究院)

講演番号 519: アフリカイネとアジアイネの4倍体種間雑種における *HS* 座

☆國吉大地^{1,2}, 石原萌², 佐藤裕³, 貴島祐治² (1. 国際農研・熱帯島嶼研究拠点, 2. 北海道大・農学院, 3. 農研機構・北農研)

講演番号 520: *O. sativa* と *O. glaberrima* の4倍体種間雑種イネで見出された種子および花粉稔性の向上に関わる遺伝領域

☆岡大晴¹, 古田智敬¹, 柏原孝成¹, 牟竈瑞¹, 貴島祐治², 長岐清孝¹, 山本敏央¹ (1. 岡山大・院・環境生命・植物研, 2. 北海道大・院・農)

講演番号 524: H3K27me3 レベル改変による *Oryza sativa* × *O. australiensis* の雑種胚乳における生殖的隔離の打破

☆黒坂絵美¹, 中山怜南¹, 古海弘康², 佐藤豊², 木下哲³, 畠山勝徳¹, 殿崎薫³ (1. 岩手大・農, 2. 遺伝研, 3. 横浜市大・木原生研)

講演番号 P029: 未精製 DNA を用いた迅速・簡便な MIG-seq ライブラリー構築法の開発

☆西村和紗¹, 元木航¹, 長坂京香², 滝澤理仁³, 張芸瑄², 森崇², 中野龍平², 中崎鉄也² (1. 岡山大・院環境生命自然, 2. 京都大・院農学, 3. 龍谷大・農)

講演番号 P057: オルガネラゲノム特異的にランダムな変異を導入する2通りの技術の開発

☆小坂七海¹, 原田佳樹¹, 中里一星¹, 奥野未来², 伊藤武彦³, 矢守航¹, 堤伸浩¹, 有村慎一¹ (1. 東京大・院農学生命科学, 2. 久留米大医, 3. 東京工業大・院生命理工)

講演番号 P086: オオムギ花序メリステムの細胞死過程における核内構造変化

☆松本大輝¹, 井藤純¹, 野村有子¹, 若崎眞由美², 佐藤蘭子², 武田(神谷)紀子², 最相大輔³, 豊岡公徳², 辻寛之^{1,4} (1. 横浜市大・木原生物学研究所, 2. 理研・環境資源科学研究センター, 3. 岡山大学資源植物科学研究所, 4. 名古屋大・生物機能開発利用研究センター)

◇ 地域談話会だより

〈中国地区〉

2023年9月23日(土), 24日(日), 第15回中国地域育種談話会が高原の宿氷太くんにて開催された(大会委員長: 鳥取大学乾燥地研究センター・辻本壽 & 石井孝佳)。参加人数は54名, 特別講演2題, ポスター発表36題であった。堀田望未(P02), 岡大晴(P04), 平田駿一郎(P12), 日名弘貴(P13), 杉浦李果(P28), 十河奈々(P32)の6名に優秀発表賞が授与された。次回の第16回中国地域育種談話会は岡山大学農学部の西田英隆氏を大会委員長として開催されることになった。

【開催概要】

開催日時: 2023年9月23日14時00分～2023年9月24日11時30分

場所: 鳥取県 若桜町 氷ノ山高原の宿氷太くん

【プログラム概要】

2023年9月23日(土)

開会挨拶(辻本壽)

ポスター発表者によるプレビュートーク

ポスター発表

2023年9月24日(日)

特別講演 S01(座長 石井孝佳)

特別講演 S02(座長 石井孝佳)

優秀発表賞表彰式

閉会

【特別講演】

S01 乾燥地植物の根に共生する微生物の生態と環境修復への利用。○谷口武士(鳥取大・乾地研)

S02 乾燥地の草原生態系における土の呼吸に対する放牧の影響。○寺本宗正¹・Zorigbaatar Nyamtseren²・Jamsran Undarmaa²・梁乃申³・山中典和¹ (1. 鳥取大・乾地研, 2. モンゴル生命科学大学, 3. 国立環境研究所)

【ポスター発表】

P01 サツマイモにおけるサツマイモネコブセンチュウ抵抗性候補遺伝子の配列決定と抵抗性に寄与するアレルの推定。○泉谷真¹・大畑慎一郎¹・田淵宏朗²・西村和紗¹・西田英隆¹・加藤鎌司¹・門田有希¹ (1. 岡山大・院環境生命自然, 2. 農研機構・九沖研)

P02 サツマイモの塊根におけるアントシアニン生合成関連遺伝子の探索。○堀田望未¹・岡田吉弘²・神崎浩¹・栗原未結³・西村和紗¹・西田英隆¹・加藤鎌司¹・門田有希¹ (1. 岡山大・院環境生命自然, 2. 農研機構・九沖研, 3. 岡山大・院環境生命)

P03 土壌 pH がオオムギの農業関連形質に及ぼす影響。○白土寛子・最相大輔・久野裕(岡山大学・植物研)

P04 イネ種間雑種4倍体の後代分離集団で検出された農業形質関連 QTL の dosage 効果とヘテロシスの予測。○岡大晴¹・古田智敬¹・牟竈瑞¹・柏原竜成¹・長岐清孝¹・貴島祐治²・山本敏央¹ (1. 岡山大・院・環境生命・植物研, 2. 北海道大学・農学研究院)

P05 Comparison of phenotypes and haplotypes at candidate gene loci involving elemental contents revealed by rice multiparental populations. ○Zhang Qian¹, T. Furuta¹, K. Kashiwara¹, D. Ogawa², J. Yonemaru³, J.F. Ma¹, T. Yamamoto¹ (1. IPSR, Grad. Sch. Environ. Life Sci., Okayama U., 2. NICS, NARO, 3. RCAIT, NARO)

P06 Differentially expression analysis between synthetic interspecific hybrids and its cultivated parents in rice. ○Hongrui Mu¹, Tomoyuki Furuta¹, Taisei Oka¹, Kiyotaka Nagaki¹, Yuji Kishima², Hiroshi Kato³, Yuichi Koshiishi³, Toshio Yamamoto¹ (1. IPSR, Grad. Sch. Environ. Life Sci., Okayama Univ., 2. Grad. Sch. Agr., Hokkaido Univ., 3. Tokyo Univ. of Agr.)

P07 シロイヌナズナにおける CYP78A ファミリーによる葉老化制御機構の解析。○藤田綾音・信澤岳・草場信 (広島大・統合生命)

P08 キクタニギク自家和合性突然変異 *csc1* 責任遺伝子の探索および機能解析。○有末遼¹・中野道治²・草場信¹ (1. 広島大・統合生命, 2. 高知大・農林海洋)

P09 低温ストレスが花の形態異常を引き起こす際の既知遺伝子群の発現解析。○西野宗一郎¹・大山歩弥¹・鳥羽太陽²・富永るみ¹・田中若奈¹ (1. 広島大・院・統合生命, 2. 宮城大・食産業)

P10 イネの腋芽形成を制御する新規遺伝子の同定。○大山歩弥¹・鳥羽太陽²・富永るみ¹・田中若奈¹ (1. 広島大・院・統合生命, 2. 宮城大・食産業)

P11 低温がイネ穂の形態形成に与える影響の解析。○牧原奈穂¹・大山歩弥¹・鳥羽太陽²・富永るみ¹・田中若奈¹ (1. 広島大・院・統合生命, 2. 宮城大・食産業)

P12 コムギ TILLING 集団からの節水型耐乾性系統の選抜および生理学的解析。○平田駿一郎¹・横山聡太郎²・辻本壽³・妻鹿良亮¹ (1. 山口大・院・創成科学, 2. 岡山大・院・環境生命, 3. 鳥取大・乾燥地研)

P13 パンコムギの節水型耐乾性に寄与する QTL の探索。○日名弘貴¹・松岡由浩²・石井孝佳³・妻鹿良亮^{1,4} (1. 山口大・農, 2. 神戸大・院・農, 3. 鳥取大・乾燥地研, 4. 山口大・院・創成科学)

P14 東アジアコムギ NAM 集団を利用した交雑親和性遺伝子のマッピング。○三科興平¹・森田美波¹・Nie Jilu²・Su Zhuo²・那須田周平²・佐久間俊¹ (1. 鳥取大学・農学部, 2. 京都大学・大学院・農学研究科)

P15 オオムギの分げつ形成と穂形態に異常を示す突然変異体の解析。○伊永花瑛・佐久間俊 (鳥取大学・農学部)

P16 Golden Promise から新たに見つかった六条突然変

異体の遺伝解析。○澤田真衣¹・久野裕²・佐久間俊¹ (1. 鳥取大学・農学部, 2. 岡山大・資源植物科学研究所)

P17 ヒトツブコムギの小穂あたり粒数を制御する遺伝子のマッピング。○中村木葉里・佐久間俊 (鳥取大学・農学部)

P18 コムギの花粉管観察法の改良。○松本青空・三科興平・佐久間俊 (鳥取大学・農学部)

P19 オオムギの栽培種と野生種における EMS 感受性の比較解析。○吉田高規・佐久間俊 (鳥取大学・農学部)

P20 高温ストレス下のコムギ種子形態を維持する *Thinopyrum elongatum* 由来 E ゲノム染色体の探索と利用。○小針大輔¹・田中裕之² (1. 鳥取大・院・持続性社会創生科学, 2. 鳥取大・農)

P21 Establishment of an ovule culture system to enhance the utilization of cowpea genetic resources via wide crosses. ○Ofem Ngozi P.¹, Takayoshi Ishii² (1. Grad. Sch. of Sus. Sci., Tottori U., 2. ALRC, Tottori U.)

P22 チカラシバ属種間雑種の作出に向けた迅速栽培法の確立。○寺田晃盛¹・佐久間俊²・石井孝佳³ (1. 鳥取大学・大学院・持続性社会創生科学研究科, 2. 鳥取大学・農学部, 3. 鳥取大学・乾燥地研究センター)

P23 Exploration of wild emmer wheat intraspecific heat stress tolerance variation in a background of durum wheat. ○Mohammed Yousif Balla^{1,2}, Nasrein Mohamed Kamal^{1,2}, Yasir Serag Alnor Gorafi^{1,2}, Modather Galal Abdeldaim Abdalla², Izzat Sidahmed Ali Tahir^{1,2}, Hisashi Tsujimoto¹ (1. ALRC, Tottori U., 2. ARC, Sudan)

P24 Towards automated hybridization method using Trifluoromethanesulfonamide (TFMSA) with insect pollination in cowpea (*Vigna unguiculata*) and *Arabidopsis* relatives. ○Y. Sekiguchi¹, Benjamin Ewa Ubi^{1,2}, Takayoshi Ishii³ (1. Grad. Sch. Sustainability Sci., Tottori U., 2. Department of Biotech., Ebonyi State U., 3. ALRC, Tottori U.)

P25 Sustainable wheat production under climate change: interventions for increased NUE of Bread Wheat. ○Amir. I.I. Emam^{1,2}, Yasir S.M. Serag^{1,2}, Izzat S.A. Tahir^{1,2}, T. Ishii¹, H. Tsujimoto¹ (1. ALRC, Tottori U., 2. ARC, Sudan)

P26 Establishment of an in-planta particle bombardment gene editing method in pearl millet. ○Arikpo, G¹, Ishii, T.² (1. Grad. Sch. of Sus. Sci. Tottori-U., 2. ALRC, Tottori-U.)

P27 コムギ多様性拡大のための新奇合成八倍性コムギの育成及び倍数性解析。○高燕¹・松岡由浩²・辻本壽^{1,3}・岸井正浩⁴・佐久間俊⁵・石井孝佳^{1,3} (1. 鳥取大学・連合農学研究科, 2. 神戸大学・農学研究科, 3. 鳥取大学・乾燥地研究センター, 4. 国際農研, 5. 鳥取大学・農)

P28 イネコムギの砂地圃場における形質調査。○杉浦李果¹・中尾里菜¹・樽谷英賢²・マリエンティ テティ^{3,4}・



優秀発表賞授与式の様子。左から辻本壽氏、十河奈々氏、杉浦李果氏、日名弘貴氏、平田駿一郎氏、岡大晴氏、堀田望未氏、石井孝佳氏

劉佳啓⁵・岡本龍史³・木村玲二⁵・石井孝佳⁵ (1. 鳥取大学・農学, 2. 鳥取大・院持続性社会, 3. 東京都立大・院理学, 4. インドネシア大・数学・自然科学, 5. 鳥取大・乾燥地研究センター)

P29 オオムギの遺伝解析に対する MIG-seq の活用。○西村和紗¹・大熊眞歩²・門田有希¹・西田英隆¹・加藤鎌司¹ (1. 岡山大院環境生命自然, 2. 岡山大院環境生命)

P30 オオムギ 5H 染色体に座乗する新規出穂期関連 QTL の遺伝解析。○阿辻佳人¹・大熊眞歩¹・西村和紗²・門田有希²・加藤鎌司²・西田英隆² (1. 岡山大院環境生命, 2. 岡山大院環境生命自然)

P31 オオムギ出穂期突然変異体のエキソーム解析と遺伝解析による原因遺伝子の探索。○大熊眞歩¹・西村和紗²・門田有希²・加藤鎌司²・西田英隆² (1. 岡山大・院環境生命, 2. 岡山大・院環境生命自然)

P32 メロンのワタアブラムシ抵抗性遺伝子座周辺における重複配列の比較解析および選抜マーカーの開発。○十河奈々¹・大熊眞歩¹・Odirichi Nnennaya IMOH¹・長井朋美¹・嶋田玄太郎^{2,7}・田中克典³・西村和紗⁴・清古貴⁵・武藤千秋⁵・内藤健⁵・門田有希⁴・杉山充啓⁶・西田英隆⁴・川頭洋一⁶・友岡憲彦⁵・加藤鎌司⁴ (1. 岡山大・院環境生命, 2. ミュンヘン工科大, 3. 弘前大・農生命, 4. 岡山大・院環境生命自然, 5. 農研機構・資源研, 6. 農研機構・野菜花き研究部門, 7. 筑波大・生命環境)

P33 デュラムコムギにおける出穂期関連遺伝子の相互作用の解析。○藤岡明雅¹・門田有希²・西村和紗²・西田英隆²・加藤鎌司² (1. 岡山大・院環境生命, 2. 岡山大・院環境生命自然)

P34 オオムギ出穂期関連遺伝子 *HvELF3* と *HvPhyC* の遺伝子間相互作用とそれに影響を及ぼす遺伝子の解析。○板谷俊弥・西村和紗・門田有希・加藤鎌司・西田英隆 (岡山大・院・環境生命自然)

P35 オオムギ品種「ユメサキボシ」における RNA-seq による生育ステージ特異的遺伝子発現の解析。○中田知

里¹・中谷勇²・大熊眞歩³・西村和紗¹・門田有希¹・加藤鎌司¹・西田英隆¹ (1. 岡山大・院環境生命自然, 2. 岡山大・農, 3. 岡山大・院環境生命)

P36 オオムギ出穂期関連遺伝子が幼穂形成及び節間伸長に及ぼす影響の解析。○中谷勇¹・中田知里²・西村和紗²・門田有希²・加藤鎌司²・西田英隆² (1. 岡山大・農, 2. 岡山大・院環境生命自然)

研究助成公募等の案内

◇ 公益財団法人タカノ農芸化学研究助成財団 2024 年度研究助成公募のお知らせ

2024 年度研究助成対象者募集要領

本財団は、農学、特に農芸化学（生物資源等）に関する学術研究を助成し、もって学術研究の発展に寄与することを目的とし設立されました。本年度も、農芸化学等に関する研究を行っている大学等の研究機関の研究者に対し、研究助成金を交付いたします。特に、若手研究者への助成の枠を設け、今後の当該分野の研究促進に役立ちたいと考えています。2024 年度助成対象者は次の要領で募集いたします。

1. 研究分野：(A) 豆類や穀類の生産技術（栽培、育種、植物栄養、根圏微生物等）に関する研究、(B) 豆類や穀類、並びにそれらの加工品の食品機能（栄養機能、嗜好機能、生体調節機能等）に関する研究、(C) 豆類や穀類の加工、保蔵、流通技術に関する研究、並びにそれらの発酵に関連する微生物や酵素の探索、特性、利用に関する研究

2. 研究助成対象者：(1) 国内の大学、短大の研究者（大学院生も含む）、(2) 国公立並びに国立研究開発法人等の研究機関の研究者、(3) その他本財団の理事会において適当と認められた研究者

3. 助成金額：(1) 一般部門（年齢制限なし）1 件当たり 100 万円を 7 件程度、(2) 若手部門（40 歳未満）1 件当たり 50 万円を 6 件程度 ※若手部門は、昭和 59 年 4

月1日以降生まれの方

4. 交付時期：2024年5月予定

5. 申請手続き方法：財団所定の申請書に必要事項を記入の上、2024年1月15日から3月10日（必着）までに財団理事長宛てに郵送して下さい。尚、申請書用紙は、タカノフーズ(株)ホームページ（<http://www.takanofoods.co.jp/>）内【タカノ財団】からダウンロードできます。または、E-mailにお問合せいただけましたら、書類を添付して返信いたします。

6. 申請書請求先及び送付先：〒311-3411 茨城県小美玉市野田1542（公財）タカノ農芸化学研究助成財団
TEL: 0299-58-4363 FAX: 0299-58-3847 E-mail: tazaidan@takanofoods.co.jp

7. その他：同一研究課題で、他の団体等へ応募され、かつ、本年度重複助成となられた場合には、助成をできない場合がありますのでご注意ください。

・過去助成研究テーマ検索 <http://www.takanofoods.co.jp/company/foundation/>

日本育種学会会員異動（2023.4.21～2023.10.20）

◇普通会員入会：遠藤亜矢（北海道）、ディンティ・ラム（青森県）、伊藤和江（岩手県）、鶴巻啓一、石塚和（山形県）、岡田岳之、相馬史幸（茨城県）、遠藤亮太、竹内貴規、豊田明奈、真籠洋（栃木県）、本多潔（愛知県）、辻村雄紀（滋賀県）、竹中瑞樹、内藤一平（京都府）、足助聡一郎（兵庫県）、上向井美佐（香川県）、玉置学、玉置涼佑（愛媛県）、柿塚裕理（福岡県）、稗圃直史（長崎県）

◇学生会員入会：吳玥、長谷彩花、笹田弘樹、YOHANA NEEMA YONA、土屋玲奈、平野翔也、工藤七海、NISHIMURA CARMO EIKE YUDI、島田翔太、真中千明、SUAREZ LESLY DIAZ（北海道）、横井望（青森県）、足立拓海、黒坂絵美（岩手県）、朱星宇、山下雅大（宮城県）、細野浩平（山形県）、大関深愛、中嶋梨花、眞下星来、大槻日向子（茨城県）、小野輝久（栃木県）、中田康貴、長島華世、鐘昱陽、福本勇太、森實郁太（東京都）、

笠間瑞希、森谷光、横田彩乃、小澤圭佑（神奈川県）、小野田惟吹、杉崎練、久保田礼花、依田悠希、根本花奈美、石川詩絵里（新潟県）、原蒔士、熊澤利輝（石川県）、中野悠平（福井県）、ISMAIL SITI NORHAYATI、石井優稀（長野県）、鈴木廉、森下友梨香、櫛田聖也、DONG YIHAO、MABREJA ABEBAW DESSIE（愛知県）、石橋朋大（滋賀県）、妹尾哉汰、與田悠人、美濃地弘樹、張芸瑄、青木亮磨、森崇、田渕雅啓、曾田圭一、工藤葵（京都府）、世故捷之助（大阪府）、森岡美羽、白木沙彩、西村慶太（兵庫県）、立石陽向、澤田康介（奈良県）、関口結佳、OFEM NGOZI PAULINUS、杉浦李果、寺田晃盛（鳥取県）、牟竈瑞、中村光希、影山竜一（岡山県）、川口謙二、渡邊いぶき、辻誠也（広島県）、綿島彩華、平田真里菜（宮崎県）、高橋龍成、前田幸暉浩、柴田雪花（鹿児島県）

◇外国会員入会：PADUKKAGE DUWINI CHATHURANGI（スリランカ）

住所変更等

◇普通会員：青木秀之（北海道）、山口誠之、佐藤奈乃佳（岩手県）、重宗明子（秋田県）、岸井正浩、布目司、柿崎智博、池ヶ谷智仁、後藤明俊、板橋悦子、戸田悠介、武藤直氣、パク・ヒョンジュン（茨城県）、矢野健太郎、大嶋雅夫（東京都）、吉岡藤治、吉田沙樹、岡本昌憲（神奈川県）、中込弘二（新潟県）、西原昌宏（福井県）、吉川貴徳（静岡県）、小前幸三（大阪府）、今井篤（広島県）、清水浩晶（福岡県）、福田善通（沖縄県）、片野和馬（アメリカ）、町田（平野）僚子（フランス）

◇学生会員：佐々木瞭太（北海道）、矢口杏珠（千葉県）、荷見円（東京都）、舟川奈那（静岡県）、河村凌（京都府）

逝去

有泉亨（茨城県）、服部一三（愛知県）
慎んでご冥福をお祈りいたします。